

2017-B

Ⅲ 15B

拠出金・基金
の名称

国連食糧農業機関拠出金

種 別

☒ イヤマークのみ ☐ 一部イヤマーク

【拠出先の国際機関名】国連食糧農業機関(FAO)

【所管官庁担当局課・室名】外務省経済局経済安全保障課

【当該任意拠出金の目的・用途等】

FAOからの、食料・飢餓問題の解決に向けた農業生産の向上等を目的としたプロジェクトへの支援要請に応じ、中東・アフリカにおける農業セクターの能力向上を通じた食料安全保障の確保、生計向上・レジリエンス強化等に対する支援を目的として、10か国12プロジェクトに対するプロジェクトの拠出を行った。

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成29年度	1,011,340	9,194		1米ドル=110円	100
平成28年度				1米ドル=120円	
平成27年度				1米ドル= 110円	

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

1 中東・北アフリカでは、①シリア・イラク及び周辺国(ヨルダン、トルコ)において、農業セクターの能力向上を通じ、食料安全保障の確保、経済レベルの向上、社会安定化及び地域経済の強化を、②イエメンにおいて、灌漑用水に未処理排水を使用する農家のために代替水を提供し、衛生状況を改善することで、コレラのリスクを減少を目指したプロジェクトが実施された。

2 サブサハラ・アフリカでは①ウガンダにおいては、南スーダンからの難民数が100万人近くに達しており、ホストコミュニティへの負担が増大しているが、難民及びホストコミュニティが、難民危機の影響を持続可能な方法で適応できるように生計システムの強じん性の強化を、南スーダンにおいては、中央牧畜診断所の改修、スタッフへの技術指導、政策形成支援を通じて牧畜漁業省の能力を強化し、家畜の病気感染を防ぐためのプロジェクトが実施された。②ソマリアにおいては、干ばつにより深刻な影響を受け国内避難民となった農村地域の人々に対し、早期かつ効果的な回復のための支援を実施した。ジンバブエにおいては、2017年に発生した高病原性鳥インフルエンザ及び外来の蛾の幼虫被害に対し、それらの発生抑制と管理に係る同国の研究機関や農業省の能力向上及び被害を受けた農家の生産能力の強化を行った。ギニアにおいては、洪水及び害虫被害を受けた世帯の食料・栄養安全保障を多角的な支援により確保した。

現下の世界の食料危機等にFAOの知見を生かしながら貢献できるよう、我が国として有益と考える上記FAOの取組を積極的に支援できたことは、非常に大きな意義があった。

【備考】